

平成30年産米 食味・品質分析について

プレミアム88の実績と前年との比較				
	29年産		30年産	
	みずかがみ	33件	380袋	30件
	0件	0袋	1件	64袋
コシヒカリ	162件	3,354袋	85件	1,587袋
	7件	218袋	3件	73袋

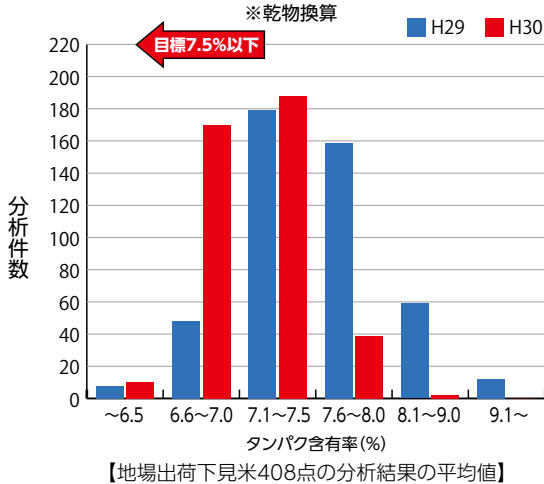
※各品種の上段は、整粒77%以上、食味77点以上のプレミアム88候補で、下段はプレミアム88の実績です。



昨年導入した分析機器

昨年度、精度の高い分析を行うことから、食味分析計と穀粒判別器を更新し、今年度も「コシヒカリ」「特別栽培米コシヒカリ」「みずかがみ」の地場出荷の下見米をもとに食味・品質分析を行いました。

コシヒカリのタンパク分布(昨年との比較)



30年産米のコシヒカリにおけるタンパク含有率は、目標の7.5%以下が全体の89.2%となり、食味は昨年と比べて向上しましたが、登熟前半の高温障害、後半は日照不足による登熟不良等の影響から、未熟粒が増加したことにより品質は低下し、昨年同様プレミアム88に該当したものは少ない結果となりました。食味、品質は、気象条件だけでなく、栽培方法によっても大きく左右されますので、平成31年産栽培の手引きを参考に食味と品質を両立した高品質米の生産に努めてください。

水稲肥料銘柄変更のお知らせ

変更後

楽しよう君

成分：20-10-12
容量：20kg

変更前

伊吹みのり一発

成分：20-10-12
容量：20kg

従来の伊吹みのり一発と同様にご使用ください。

従来の伊吹みのり一発に類似した肥効となります。

近年の温暖化による登熟期の高温対策として中晩生用を推奨しております。

良質な肥料を「さらに安く」お届けするために

JAでは、肥料の「銘柄集約による新たな共同購入」により、生産資材費の引下げの取組みを行っているところですが、従来ご利用いただいておりますJAレーク

伊吹オリジナル肥料「伊吹みのり一発」につきましては、平成31年産水稲用より「楽しよう君」に銘柄を変更させていただきます。

伊吹みのり一発と楽しよう君(中晩生用)の肥効イメージの比較

